

# M R I 検 査 説 明 書

放射線科

様

年 月 日 曜日 来院時間 時 分

検査予定時間 時 分

◎この検査にあたり食事・水分の制限はありません。

◎予約時間と開始時間が前後する場合がございます。ご了承下さい。

## 【MRIとは】

MRI（磁気共鳴画像）とは、エックス線は使用せず、強い磁石と電波を使って体内の状態を断面像として描写する検査です。検査着に着替えて、トンネルの中に入って検査をします。検査中、工事現場のような音が様々な機械音が鳴りますのでご了承下さい。

★必要に応じて、造影剤を使用して検査をおこなう場合があります。

## 【MRI検査を受けるにあたっての注意事項】

※心臓ペースメーカー・人工内耳を使用している方は検査を受けられません。

・次のような方は主治医または検査担当者にあらかじめお知らせ下さい。

- 体内に金属が入っている方（脳動脈クリップ、血管ステント、人工関節、VPシャント等）。
- 妊娠中もしくは、可能性のある方。授乳中の方。
- 閉所恐怖症など狭いところが苦手な方。
- 刺青、タトゥーをいれている方。

・次の物は故障したり検査に影響したりすることがありますので、検査前に必ず取り外し、検査室内へ持ち込めません。

☆金属類： 時計、メガネ、鍵、ヘアピン、ピアス、ネックレス、ヘアピン付かつらなど。

☆磁気カード： キャッシュカード、クレジットカード、などのカード類、定期券など。

☆その他： 携帯電話、補聴器、取り外し可能な義歯、金属のついた下着、カイロ、エレキバン、機能性下着（ヒートテック）など。

・化粧品（アイシャドウ等）の中には、金属を含んでいるものがありますので、検査前に落とし頂くことがあります。

◆ ご都合の悪いとき（検査日の変更等）は、15：00～16：00に各受診外来へご連絡下さい。

◆ 検査後、異常が起きたら下記にご連絡ください。

TEL (055) 952-1000 (代表)

聖隷沼津病院

## MRI 検査におけるガドリニウム造影剤投与に関する説明および同意書

### 【造影剤についての説明】

今回実施する MRI 検査では“ガドリニウム造影剤”という薬の注射をする場合があります。造影剤は MRI で病気の有無や病気の性質、範囲といったことをより正確に評価するために用いられるものです。造影剤を使うかどうかは検査の部位や目的によってさまざまで、検査に応じて主治医または放射線科医師が判断致します。造影剤を使うとまれに副作用が起こることもあります。

軽微な副作用も含めて、1～2%の患者さんに何らかの副作用が生じます。ほとんどは気分が悪くなったり、吐いたり、じんましんが出たり、顔がほてったりといった軽く、一過性のものです。稀に冷や汗が出たり、胸が苦しくなったりすることがあります。2万人に1人程度の割合でショックなどの重篤な副作用を生じることがあり、また、きわめて稀(83万人に1人)に死亡する場合があります。

当院では検査中の万一の副作用に対してもすばやく対応ができるようにした上で、検査を行っています。造影中や造影後に気になる症状があれば、すみやかに検査担当者にお申し出ください。以下の項目、症状あるいは病名に該当する場合、造影検査を施行できないか、あるいは副作用の頻度が高くなったり、既存の病状が強くなる可能性がありますので、検査説明は検査当日までに主治医にご確認ください。

- ・過去の造影剤副作用歴
- ・喘息
- ・重い肝障害、腎障害
- ・アレルギー体質、薬剤過敏症
- ・てんかん

上記について説明しました。

説明日 年 月 日 説明医師

必要な場合には造影剤を使用した検査を受けることについて理解しましたので、造影検査を受けることに

- ・ 同意します
- ・ 同意しません

聖隷沼津病院 病院長 殿

署名年月日： 年 月 日

本人署名欄： (自筆署名、押印不要)

親族/代理者： 続柄： (本人同意不可・未成年の場合記入)